

令和5年度ジャパン・ライジング・スター・プロジェクト(パラリンピック競技)

7期 応募要項

1. 目的 本プロジェクトは、パラリンピック競技における将来性豊かなスポーツタレント又はアスリートを発掘し、メダル獲得の潜在能力を有するメダルポテンシャルアスリートへと育成するための持続可能で強固な道筋(アスリート育成パスウェイ)を構築・充実させることを目的とする。令和5年度は公益財団法人日本パラスポーツ協会が関係する団体・施設等の協力・連携のもと、より地域に密着したタレントの発掘とメダル獲得に必要な潜在能力を検証するためのプログラムを実施し、ロサンゼルス2028大会・ミラノ・コルティナ 2026 大会に向けた将来有望なアスリートを中央競技団体の育成・強化コースへ導くことを目指す。
2. 主催 公益財団法人日本パラスポーツ協会(JPSA)
3. 委託元 独立行政法人日本スポーツ振興センター(JSC)
※「アスリート育成パスウェイの構築支援」委託事業
4. 後援 公益財団法人日本中学校体育連盟、公益財団法人全国高等学校体育連盟、公益財団法人日本高等学校野球連盟、ほか基礎測定会開催地関係団体
5. 協力 スポーツ庁、公益財団法人日本スポーツ協会、公益財団法人日本オリンピック委員会、基礎測定会開催地自治体、基礎測定会開催地障がい者スポーツ協会、基礎測定会開催地障がい者スポーツセンター、基礎測定会開催地障がい者スポーツ指導者協議会、基礎測定会開催県理学療法士会、日本パラリンピック委員会(JPC)加盟競技団体のうちロサンゼルス2028大会・ミラノ・コルティナ 2026 大会におけるパラリンピック実施競技団体(競技団体)、ほか関係団体
6. 対象競技
パラリンピック実施競技(夏季:22 競技、冬季:6 競技)のうち、以下のいずれかに該当するもの
(1) 既にアスリート育成パスウェイを構築し、本プロジェクトに提供可能な競技。
(2) 本プロジェクトを通じ、アスリート育成パスウェイを構築中の競技。
※パラリンピック実施競技は以下 URL を参照
<https://www.parasports.or.jp/paralympic/sports/guide-top.html>
7. 応募条件等
(1) パラリンピック競技大会に日本代表として出場することに意欲がある者(性別は問いません)
(2) 年齢:2023年4月1日現在で満11歳以上の者(2012年4月1日以前に生まれた者)
(3) 肢体障がい・視覚障がい・知的障がい(参加基準あり)のいずれかの障がいに該当し、各競技のクラス分け規則に該当する障がい程度、運動機能を有している者
※1 応募時に提供された「障がい名・程度」等の内容により、どの競技のクラスにも該当しないことが予想された場合、参加を認めないことがあります。
※2 低身長症や軽度の機能障がい等で身体障害者手帳を所持しない者でも応募可能です。
※3 申込み時点で競技クラスが分からなくてもエントリー可能です。

■ 知的障がい者の参加基準について

- ※1 療育手帳の交付を受けた者、又は公的判定機関で IQ75 以下の判定を受けた者を対象とします。
- ※2 対象競技のうち陸上競技／水泳／卓球に関しては、参加基準を設定します。エントリーを希望する競技において、以下項目のうちいずれかの基準を上回る方のみを対象とします。
- ※3 知的障がい者 参加基準

	競技	種目/項目	記録(男子)	記録(女子)
1	陸上競技	50m	6.70	7.30
		立幅跳	270cm	200cm
		20m シャトルラン	110 回	65 回
		100m	12.00	14.00
		400m	54.00	1:07.00
		800m	2:06.00	2:35.00
2	水泳	1500m	4:20.00	5:20.00
		100m 自由形	1:06.00	1:28.00
		100m 背泳ぎ	1:22.50	1:41.20
		100m 平泳ぎ	1:25.80	1:50.00
3	卓球	以下のいずれかに該当し、日常的に指導者から技術指導を受けている者。 ・全国障がい者スポーツ大会卓球競技に参加し、優勝の経験がある者。 ・各都道府県卓球協会が主催する健常者の大会、または、市区町村の卓球協会が主催する健常者の大会に出場し、ベスト 16 以上の経験がある者。		

ただし、水泳において、100m の記録がない場合に限り、50m の記録で判断します。参加基準の記録は、下表のとおりです。

競技	種目/項目	記録(男子)	記録(女子)
水泳	50m 自由形	32.00	44.00
	50m 背泳ぎ	41.25	50.60
	50m 平泳ぎ	42.90	55.00
	50m バタフライ	37.40	48.40

8. 参加料 無料(基礎測定会に参加するための交通費は自己負担となります。)

9. 同意事項

本プロジェクトにエントリーすることにより応募者本人が以下の各事項を確認・同意したものとみなします。なお、応募者が令和5(2023)年4月1日現在満18歳未満の場合は親権者又は未成年後見人、成年の知的障がい者の場合は代理人(代理権を付与された任意後見人を含みます。)又は成年後見人(以下「親権者等」といいます。)の同意を得ることとします。

- (1) 本プロジェクトの目的を理解したこと。
- (2) 本プロジェクトへの参加期間中の健康管理に十分配慮し、良好な健康状態を目指すこと。

※ 医師からの運動制限がある場合やスポーツ実施時に留意すべき事項がある場合などは、必ず事前に医師に相談するとともに、基礎測定会及び検証プログラム等に参加する際、事前に JPSA へ申し

出ること。

- (3) 新型コロナウイルス感染症拡大防止については、国及び JPSA、また基礎測定会開催地自治体の方針に従い対応し、その他必要な事項を遵守すること。
- (4) 本プロジェクトにおいて JPSA、JSC 及び関係団体は、応募者及び親権者等の個人情報(応募/エントリー以降、検証プログラム終了時まで追加で取得した情報も含まれます)を法令等に従い適切に管理するものとし、JPSA ホームページに掲載している「[令和5年度ジャパン・ライジング・スター・プロジェクト\(パラリンピック競技\)個人情報の共同利用](#)」(以下「共同利用について」といいます。)に掲げる利用目的等の範囲内で共同利用します。
- (5) 本プロジェクト実施中に撮影した写真や映像を JPSA、JSC 及び「5. 協力」に示す協力団体による報道発表や JPSA 又は JSC のホームページ、ニュースレター、広報物等に掲載する場合があります。また、国際大会出場等の突出したパフォーマンス発揮に至ったアスリートに関しては、氏名・年齢・性別・競技名・成績につき、ホームページ上での公表、メディアリリースその他の公表を行う場合があります。
- (6) 本プロジェクト参加中に応募者において事故又はけがが発生した場合の処置については、応募者各自で責任を負うこと(発生時に本プロジェクト関係者による応急処置は実施します。)

10. 実施スケジュールおよび概要

(1) 応募/エントリー

本プロジェクトに参加を希望する者は、基礎測定会に応募・エントリーを行ってください。

- ・申込みは Web(<https://www.parasports.or.jp/jstar/>)からできます。
- ・参加希望者は必要な情報を主催者に提供するとともに、基礎測定会参加に当たっての個人情報取り扱い等の条件について理解し、同意の上で申し込んでください。
- ・応募開始は令和 5 年 5 月 31 日(水)とし、申込期限は基礎測定会の会場毎に設定します。
- ・原則、基礎測定会開始 2 週間前までに参加可否をメールで通知します。
- ・応募時点で希望競技を一つに特定する必要はありません。参加者は、自身が希望する競技の基本的な知識(競技の概要、対象の障がい種別等)を予め得た上で基礎測定会に参加してください。

■ 応募期間 令和 5 年 5 月 31 日(水)～

【締切り】

東北・秋田県	令和 5 年 6 月 30 日(金)	中国・広島県	令和 5 年 7 月 6 日(木)
関東・神奈川県	令和 5 年 7 月 19 日(水)	北海道・札幌市	令和 5 年 8 月 16 日(水)
四国・高知県	令和 5 年 8 月 23 日(水)	近畿・京都府	令和 5 年 10 月 12 日(木)
中部東海・静岡県	令和 5 年 10 月 18 日(水)	北信越・長野県	令和 5 年 11 月 2 日(木)
九州・鹿児島県	令和 5 年 11 月 24 日(金)		

「7.応募条件等」に定めた条件を満たしていない場合など、基礎測定会への参加をご遠慮いただく場合があります。その場合、原則として基礎測定会開始 2 週間前までにエントリー時に登録のあったメールアドレスにお知らせします。

■ 自己PR動画の投稿について(任意)

Web(<https://www.parasports.or.jp/jstar/>)より動画投稿ができます。

- ・得意なスポーツを実施している場面などで「身体全体と身体の動き」が映っていること。
- ・競技中又は日常生活で使用している車いすや装具を使用し、全身の様子を横又は斜め前方から撮影してください。

【身体の動き】

- ・走る場合は走動作、投げる場合は投動作、跳ぶ場合は跳躍動作等を撮影してください。必ずしも、走

るスピードや投げる距離を重視するものではありません。

・泳ぐ場合は泳いでいる姿勢や動作等が分かる動画を撮影してください。

・バドミントンや卓球などのラケット競技などでは、ラケット動作及びフットワーク等が分かる動画を撮影してください。

・車いすユーザーは車いす操作等を撮影してください。

※1 推奨フォーマット:mov/mp4/mpeg4/avi/wmv/

※2 選考する際の評価資料とするため、JPSA、JSC 及び競技団体等の関係団体が動画を閲覧することを予めご了承ください。

(2) 基礎測定会

応募者のうち、参加に関する諸条件をすべて満たしている者を対象に、基礎測定会を実施します。

※詳細な実施内容・時間等は、各エントリー終了後、基礎測定会への参加が認められた方への決定通知連絡によりお知らせします。

■ 期間

No.	ブロック	県・市	日程	会場
1	東北	秋田県	7/30(日)	秋田テルサ
2	中国	広島県	8/6(日)	広島県立障害者リハビリテーションセンター・スポーツ交流センターおりづる
3	関東	神奈川県	8/19(土)	神奈川県立スポーツセンター
4	北海道	札幌市	9/16(土)	北ガスアリーナ札幌 46
5	四国	高知県	9/23(土)	高知県立障害者スポーツセンター
6	近畿	京都府	11/12(日)	京都市障害者スポーツセンター
7	中部東海	静岡県	11/18(土)	静岡県草薙総合運動場体育館(このはなアリーナ)
8	北信越	長野県	12/2(土)	長野県障がい者福祉センター(サンアップル)
9	九州	鹿児島	12/24(日)	鹿児島県障害者自立交流センター(ハートピアかごしま)

■ 定員 各会場 40 名程度

※定員に達した際は、応募/エントリーの受付を締め切ることがあります。

※申し込みの締め切りまでに参加者数が 10 名以下の場合、基礎測定会を中止とすることがあります。予めご了承ください。

■ 実施内容(予定)

国内 9 ブロック(9会場)で基礎体力測定と相談ブースによる情報提供を実施します。

【基礎体力測定】

・基礎体力測定として以下を実施します(項目によっては任意での測定とする)。

体重・握力・垂直跳び・立ち幅跳び・ボール投げ・長座体前屈・肩関節柔軟性・ 20m 走・3 分間走

・基礎体力測定は、測定統括及び測定(協力)員により実施します。

※測定協力員はパラスポーツ指導員、理学療法士等で編成します。

・基礎測定会場では、競技団体担当者が、基礎測定会の会場で参加者の様子を観察・評価します。

【相談ブース】

- ・競技団体担当者からの情報提供(選手育成・強化手法等)、及び参加者からの相談対応を行います。また、あわせて本プロジェクトクラス分け担当者による競技クラス適合等に関する相談を受け付けます。

■ 持参物

当日は、体力測定を行いますので以下をお持ちください。

- ・トレーニングウェア(運動できる服装)
- ・スポーツ活動用シューズ(室内用)
- ・健康保険証 等

(3) 検証プログラム

基礎測定会に参加し、競技団体から推薦のあったものを対象として、競技特性を踏まえた専門的な測定等を含む競技団体の検証プログラムを実施します。検証プログラムの結果により競技団体が認めた参加者については、ロサンゼルス2028大会・ミラノ・コルティナ 2026 大会に向けた当該競技団体の育成・強化対象としての選手活動の機会を得ることがあります。

※検証プログラムの期間は競技団体により異なります。(最大6か月とする。)

■ その他

- ・検証プログラムに進んだ参加者は、当該競技から提供される検証プログラムの実施スケジュールや内容を確認し、自己管理に努めてください。
- ・競技団体による検証プログラムは、対象者の競技適性を見極めるため、参加者がすべてのプログラムやスケジュールに取り組むように準備されています。
- ・複数の競技団体から推薦を受けた参加者は、希望する場合は複数の競技団体の検証プログラムに参加することができます。ただし、複数競技に参加される場合、すべてのプログラム、スケジュールに参加ができるのかどうかを確認の上、参加してください。

(4) その他

- ・本プロジェクトの参加者について検証プログラムへの参加回数が少ない場合、競技への適性を期間中に十分に評価できない可能性があります。このような場合、活動期間内であっても検証プログラムを終了する場合があります。また、検証プログラムの途中であっても、当該競技におけるパフォーマンスの向上が検証時点で見込めないと評価された場合は、検証プログラムを終了する場合があります。予めご了承ください。
- ・競技団体が定める基準を超え、将来性を有すると競技団体が判断した場合、参加者本人が希望する場合は応募・エントリーから検証プログラムの実施完了を待たず、当該競技団体の育成・強化対象となることができます。

11. その他

- (1) 基礎測定会の参加者及び実施に係る関係者は被保険者として下表の傷害保険に加入します。この補償内容では不十分と思われる場合は、この保険とは別に各種保険会社の提供する保険に加入してください(追加の手続きや費用負担は各自で行ってください)。

補償内容	補償額	補償内容	補償額
死亡、後遺障害保険金	200万円	通院日額	2,000円
入院日額	3,000円	賠償責任保険金	500万円

- (2) 検証プログラムの参加者及び実施に係る関係者は、主催者または再委託競技団体の手続きにより傷害保険に加入します。補償内容は予め被保険者へ提示します。

- (3) 自然災害の恐れや新型コロナウイルス感染症拡大等の影響により、基礎測定会及び検証プログラムは中止とする可能性があります。なお、中止する場合は、申込時に登録された連絡先(メール)に連絡する他、JPSA ホームページ等にてその旨を掲載するなどの情報提供を行います。
- (4) 基礎測定会及び検証プログラムが中止となった場合や JPSA や競技団体が選考に必要と認めた場合、JPSA から応募者に動画及び測定データの追加提出を求める場合があります。

12. 問合せ先

公益財団法人日本パラスポーツ協会 J-STAR プロジェクト(パラリンピック競技)担当

E-Mail: jstar-info@parasports.or.jp

ホームページ: <https://www.parasports.or.jp/jstar/>

〒103-0014 東京都中央区日本橋蛸殻町 2-13-6

TEL: 03-5939-7021 FAX: 03-5641-1213